

メロンで「安全安心」

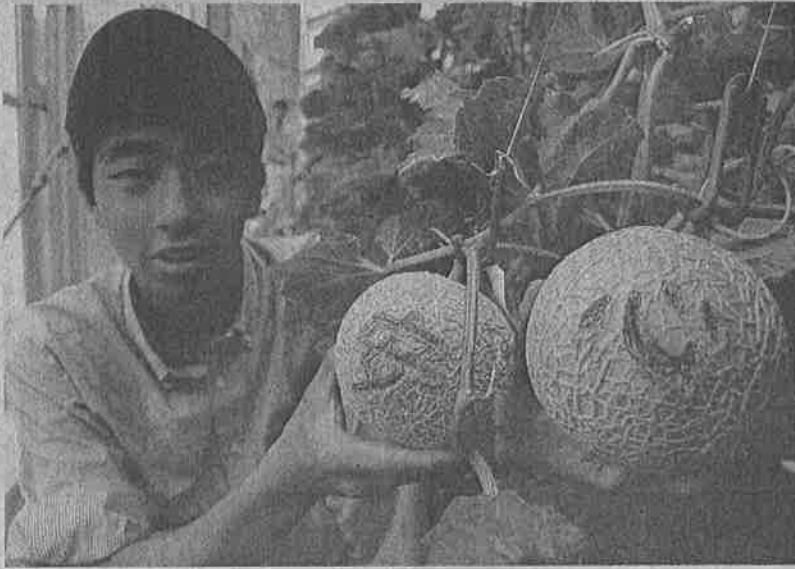
表皮に文字を入れ、啓発

島農生 高齢者のために栽培

島原市安中地区のお年寄りに交通事故や詐欺被害などに気をつけてもらうべく、島原農生(前田洋隆校長、32人)の園芸科生、科野菜ユース3年生4人が「安全安心」の文字入りマスクメロンを育てている。島原農生が昨年4月から安中地区を高齢社会総合対策重点推進地区に指定していることから、同校に依頼し

たところ、お年寄りの被害防止などに役立てばと、早く引き受けた。生徒らは3月に種をまき、ビニールハウスに植えつけ、実ったメロン1個ずつに「安全安心」のひと文字ずつを入れていった。担当生徒1人ずつ4個ひとセットで、3セットを育てている。課題研究の授業などを使ってやり方を学んでいる。カミソリなどで紙の上から文字を抜き、表皮に備をつけ、文字を入れた。来月1日に収穫することにしており、現在の果さ1・5kg、20粒くらいまで育つという。

今後、安中地区町内会連絡協議会(阿南達也会長)に寄贈する予定。3年の大畑佑哉君(17)は「興味が湧きかけた。お年寄りに喜んでもらえるなら嬉しい」とほほ笑んだ。



1個ずつに「安全安心」の文字が入ったメロン。島原農生で